

澤井市長の活動アルバム（3月分）

「インターンシップの久保田さん、宮内さん、山形さんとの面談」（3月30日）



インターンシップにより、政治と社会とがどのようにつながっているかを直接体験する取り組みの一環として、大学生の久保田さん、宮内さん、山形さんの3人が市役所を来庁されました。

松原市をさらに知るため、平成24年第1回定例会を傍聴したり、駅前や公園の清掃ボランティア活動に参加した中で感じた疑問や、様々な事業や活動における悩みなどを話してくれました。

限られた時間でしたが、将来を考える上で、本日の体験が何らかのお役に立てば、大変うれしく思います。

「第31回全国高等学校空手道選抜大会の優勝報告」（3月30日）



本市在住で浪速高等学校2年生の大西さんと葭矢くんが、「第31回全国高等学校空手道選抜大会」に出場、その優勝報告に来てくれました。

二人とも小さいころから運動神経が抜群で、色々なスポーツがうまかったようですが、一緒に続けてきた空手でともに優勝できたことが何よりもうれしかった

と話してくれました。

これからも、共に練習に打ち込み、次の大会も優勝を目指して頑張ってくださいと激励いたしました。

「『パラリンピアン』とスポーツで はじめる つながる 考える」 (3月29日)



「『パラリンピアン』とスポーツで はじめる つながる 考える」に参加し挨拶をいたしました。

今年はロンドンでオリンピックが開催され、同じ場所で身体障害者を対象としたパラリンピックが開かれます。その正式種目であるボッチャの体験会に飛び入り参加いたしました。

規則的には、白い的玉に赤と青のボールを投げ近づけるという簡単なもので

すが、いざやってみると中々奥の深いものでありました。本日の参加者の中から「スポーツのまち まつばら」初のパラリンピアンが誕生することを期待いたします。



「第 31 回全国高等学校空手道選抜大会の優勝報告」（3 月 29 日）



本市在住で大阪学芸高等学校 2 年生の久保くんが、「第 31 回全国高等学校空手道選抜大会」に出場し、その優勝報告に来てくれました。

優勝できたことがとてもうれしいと話す久保君に、自信はありましたか？と聞いたところ、「インターハイで 3 位に入り、自信を持ちました。」と力強い答えが返ってきました。

これからも周りの方に感謝し、更に練習に励み、次の大会も優勝を目指して試合に臨んで下さいと激励し、がんばる市民応援金を手渡しました。

「消防学校卒業の報告」（3 月 28 日）



消防学校を卒業した消防職員 6 名が、その報告に来てくれました。

6 ヶ月間の厳しい訓練により体力、精神力を身につけ、そして節度の大切さを学んだ彼らは、自信に満ちあふれた表情をしていました。

おどろくほどの元気な挨拶、そしてきびきびとした行動、これらを今後の現場活動に十分に活かして欲しいと思います。

6 名の消防職員には、今の気持ちを忘れず、そしてチームとしての信頼関係を大切に、松原市の安心、安全を守り続けてくださいと激励いたしました。

「松原市産業振興ビジョンの策定」 (3月26日)



松原市産業振興ビジョン策定委員会の森山委員長よりその策定について報告をいただきました。

このビジョンは、本市のまちづくりの将来像や目指すまちの姿、それを実現するための基本方向などをあきらかにした「松原市第4次総合計画」に基づく産業部門の指針となります。

「産業が元気なまち」を目指し、本市の経済を更に活性化させるための具体的

な施策を一つひとつきっちりと取り組んでまいります。

「佐渡ヶ嶽部屋千秋楽祝賀会」 (3月25日)



「佐渡ヶ嶽部屋の千秋楽祝賀会」にご招待いただきました。

大阪場所の宿舎を、本市の善宗寺におく佐渡ヶ嶽部屋の力士の皆さんには、これまでも市政及び地域活動にご協力いただいております。

大関琴歐洲関には、春の火災予防運動における本市の一日消防長にお迎えし、消防車での広報宣伝活動や防火啓発広報資材の配布等をお願いいたしました。また、

大関琴奨菊関には阿保地域によります「力士ふれあい交流会」に参加していただきました。

今後も佐渡ヶ嶽部屋力士の皆さんの活躍を心から期待いたします。

「小型発電機の寄付」 (3月22日)



本市と災害協定を締結していただいている株式会社セルビス様より、昨年の防災テントに引き続き、小型発電機を寄付していただきました。

私たちは東日本大震災の発生により、改めて、大規模な自然災害の恐怖を思い知ることとなりました。

そして、日頃の災害に対する備え、地域の絆の大切さも再認識いたしました。

これからも松原市は、地域と一体とな

った安心・安全なまちづくりに取り組んでまいります。

「第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会への出場報告」 (3月21日)



近畿大学附属中学校2年生の中西優夏さんと松原小学校5年生の津田萌咲さんが「第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」への出場報告に来てくれました。

大会に向けた抱負を聞いたところ、二人とも「自己ベストを出すことです!」と答えてくれました。

日頃の練習の成果を十分に発揮し、日本一を目指して大会に臨んで下さいと激

励し、「がんばる市民応援金」を手渡しました。

「アミリア保育園の竣工式」 (3月20日)



愛され親しまれる施設として、大きく発展し、地域福祉の向上にご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

「アミリア保育園の竣工式」にお招きをいただき、地元・市長として、ご挨拶させていただきました。

本市は子育てしやすい、まちを目指しております。アミリア保育園の開園により、年度途中の出産や、共働きを始められたり、引っ越しをされてきた方が、保育所に預けやすい環境が充実するものと考えております。

アミリア保育園がこれからも、地域に

「阪南大学卒業証書・学位記授与式」 (3月19日)



過ぎましたが、復興にはまだまだほど遠い東北の地を元気にするんだという気持ちを持ってこれから頑張っていたきたいとお願いたしました。

「阪南大学の卒業証書・学位記授与式並びに大学院学位記授与式」で、お祝いの挨拶をさせていただきました。

阪南大学の卒業式に寄せていただくのは、今回で3回目となりますが、この阪南大学に通学し学んでこられた皆さんは、松原市民も同然です。これからも、故郷松原として愛着を持ち続けていただきたいと思います。

そして、東日本大震災が発生し1年が



「松原第七中学校第 26 回卒業式」 (3 月 13 日)



松原第七中学校の卒業式に出席し、お祝いの挨拶をいたしました。

卒業する 107 名の皆さんに、私が一番大切にしている「心の技に限りなし」という言葉を送りました。

人はしんどい時、つらい時に、もうだめだと決めるのは自分の心です。しかし、がんばろう、負けないと決めるのも自分の心であり、すなわち、すべて自分の心の持ち方次第なのです。

これからの人生を生きていく上で、壁にぶつかったときに、それを避けて通らず、乗り越え打破していける強い心の技を磨き育てていただきたいとお願いいたしました。



「第1回力士ふれあい交流会」 (3月4日)



阿保地区福祉委員会により「第1回力士ふれあい交流会」が開催され、挨拶をさせていただきました。

イベントでは、子ども達と力士の取り組みが行われ、琴奨菊関の軽快な行司裁きや、力士を投げ飛ばし金星をあげる子ども達の活躍に、会場は大いに盛り上がりました。

これからのまちづくりは、いかに地域のつながりを深めていくかが、重要にな

ります。

本日のこうした取り組みを通じて、地域の皆さんのふれあいや親睦・交流を深めていただき、豊かな地域社会の創造になお一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。



「屯倉神社梅祭り」 (3月4日)



今年も、屯倉神社の梅祭りに参加させていただきました。

ようやく梅の花も咲きはじめてばかりでしたが、小雨の中ほんのり梅の香りが境内に漂っていました。

前日は天気もよく、多くの方々が梅の

花を楽しまれ、中には他県から訪れた方もいらしたそうです。

本市の名所のひとつである屯倉神社に、ぜひ、皆さんも一度足をお運びください。

「大和川・石川クリーン作戦」 (3月4日)



平成8年度より実施している「大和川・石川クリーン作戦」に参加しました。

この清掃活動は、府内の大和川・石川流域13市町村ならびに地域住民の方々が一体となり、河川に清流を取り戻すことを目的に行っています。

これまでの活動の結果、大和川の水質は近年大きく改善され、平成20年には全国ワースト1を脱却し、きれいな水質を維持しています。

私たちの大切な財産である大和川をはじめ、本市を流れる西除川、東除川が市民の憩いの場として、多くの方に立ち寄ってもらえるよう、これからも、きれいなまちづくりを進めてまいります。



「春の全国火災予防運動・大関琴欧洲関の1日消防長」 (3月1日)



春の全国火災予防運動の初日、大相撲・佐渡ヶ嶽部屋大関の琴欧洲関を本市の一日消防長として、お迎えしました。

消防車に乗車し、本市消防本部前からイズミヤ松原店までの間を、広報宣伝活動を行いました。

到着した会場には数百人の方々が集まり、火災予防運動用の広報資材はあっという間に配布を終えました。

一昨年と同様、琴欧州関の人気には驚くばかりですが、本市の火災予防の啓発への効果も十分、発揮していただいております。

今場所の活躍をお祈りいたします。



「春の全国火災予防運動・巡回広報宣伝活動の出陣式」 (3月1日)



松原市消防団及び松原市婦人防火クラブ連合会による巡回広報宣伝出陣式に出席しました。

火災を予防するには、市民の皆さんお一人おひとりが防火・防災に関する意識を高めることが何より大切です。

その意識を高めるために、この広報宣伝活動は、大きく貢献していただいております、無く
てはならないものと考えております。

本市としましても、防火体制の充実を図り、協働による「安心・安全なまちづくり」を
進めてまいります。

